

新ワーク 国語を使ったテスト勉強の進め方

1 テスト範囲の内容確認 問題演習で定着強化

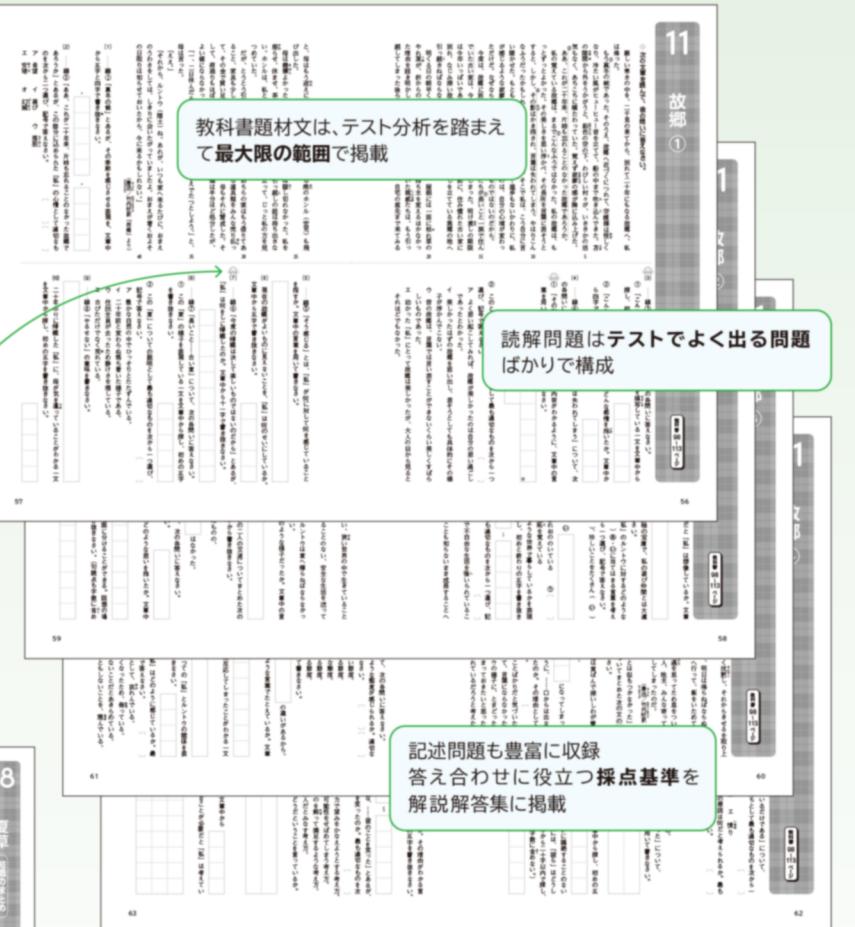
● 読解問題

教科書の文章を使用した読解問題に取り組みます。

文章量・問題数ともに最大限掲載しました。

定期テストの分析結果をもとに「よく出る場面と問題」で構成しています。

特によく出る問題に○マーク



知識事項が得点に結びつく詩歌・古典単元は単元冒頭に知識のまとめを掲載

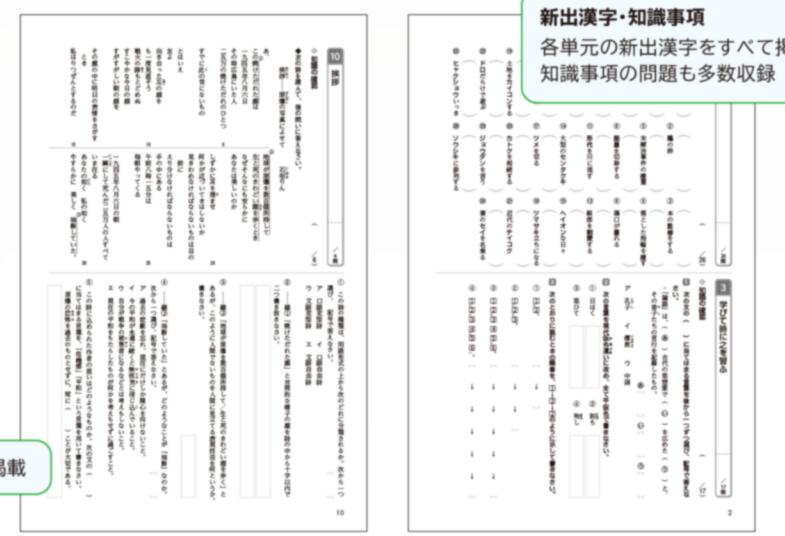
2 基本事項の反復練習

● 別冊 定期テスト得点UPトレーニング

知識事項は、別冊「定期テスト得点UPトレーニング」で集中的に反復練習します。

定期テストの範囲に応じて、新出漢字、文法、漢字・言葉の知識、詩歌や古典の知識事項の確認と定着ができます。

詩の単元は題材本文とともに問題を掲載



新しい教科書では、長年親しまれてきた作品の多くが継続され、それらの作品を題材として情報の捉え方などを学ぶ新しい試みが提案されています。この新しい学びに対応するためには、題材の内容理解を確実なものとしておくことが重要です。

新ワークは、膨大な定期テストの分析結果をもとに、要点を押さえた問題を数多く出題しています。そのため、短期間で効率よく内容理解が図れ、定期テストで高得点が目指せます。

3 予想問題で仕上げる

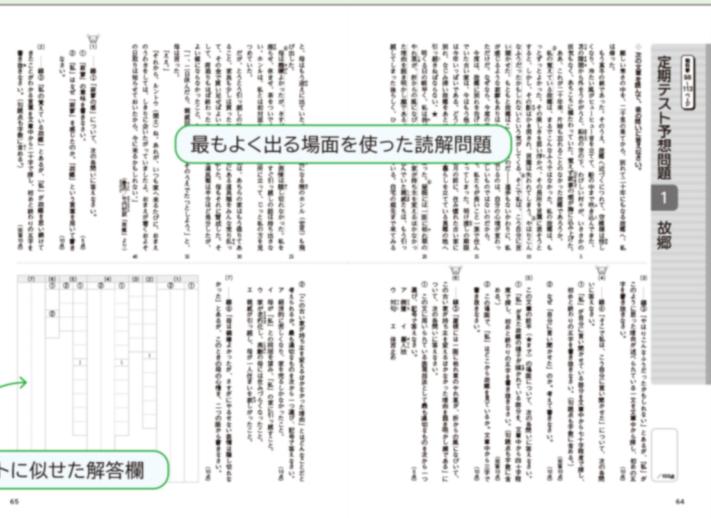
● 定期テスト予想問題

定期テストに最もよく出る場面を使った読解問題で、テスト対策の仕上げを行います。

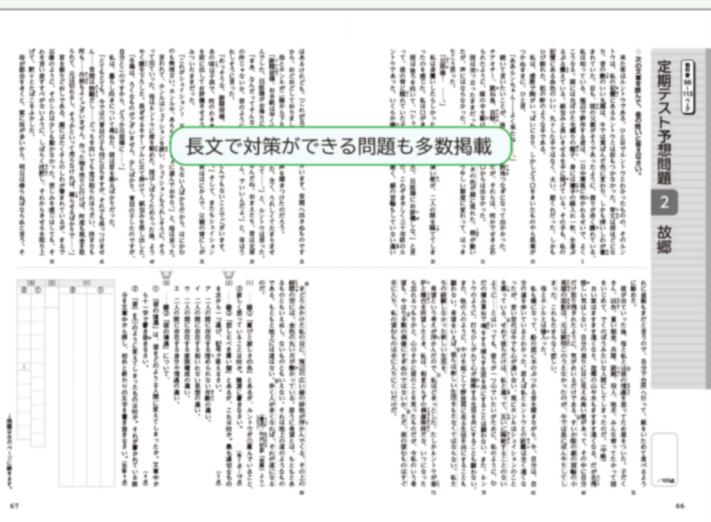
より多くのテストで出題されている問題を厳選し、このページに集めました。

また、細かく区切らずに読ませたい、時間を計って長文に挑戦させたいなどのご要望にお応えし、2500字超の長文読解も設けました。

実際に定期テストに似せた解答欄



長文で対策ができる問題も多数掲載



● ヒミツの暗記ノート

国語の読解問題でも暗記は有効な対策です。

書き抜きで問われやすい言葉、記述でよく出る問題など、読解が苦手な生徒でも、おぼえることで得点につながる問題を「ヒミツの暗記ノート」としてまとめました。

さらに、生徒の目標レベルに応じて、情報の取り扱いや意見記述など、少し難度の高い問題にも挑戦できる「差がつく記述」も設けています。

作品知識・得点ワード
作者名や関連作品、書き抜きで問われやすい言葉を暗記

差がつく記述
少し難度の高い問題

● ●マークの問題を解き直したり「ヒミツの暗記ノート」を見返したりして、読解問題を完ぺきにしておきます。

また、別冊「定期テスト得点UPトレーニング」でテスト範囲の知識事項の見直しをします。さらに、QRコードから音声が聞ける聞き取り問題（本誌巻末）で、学校の傾向に合わせた対策が可能です。

4 最後の見直し



サンプル